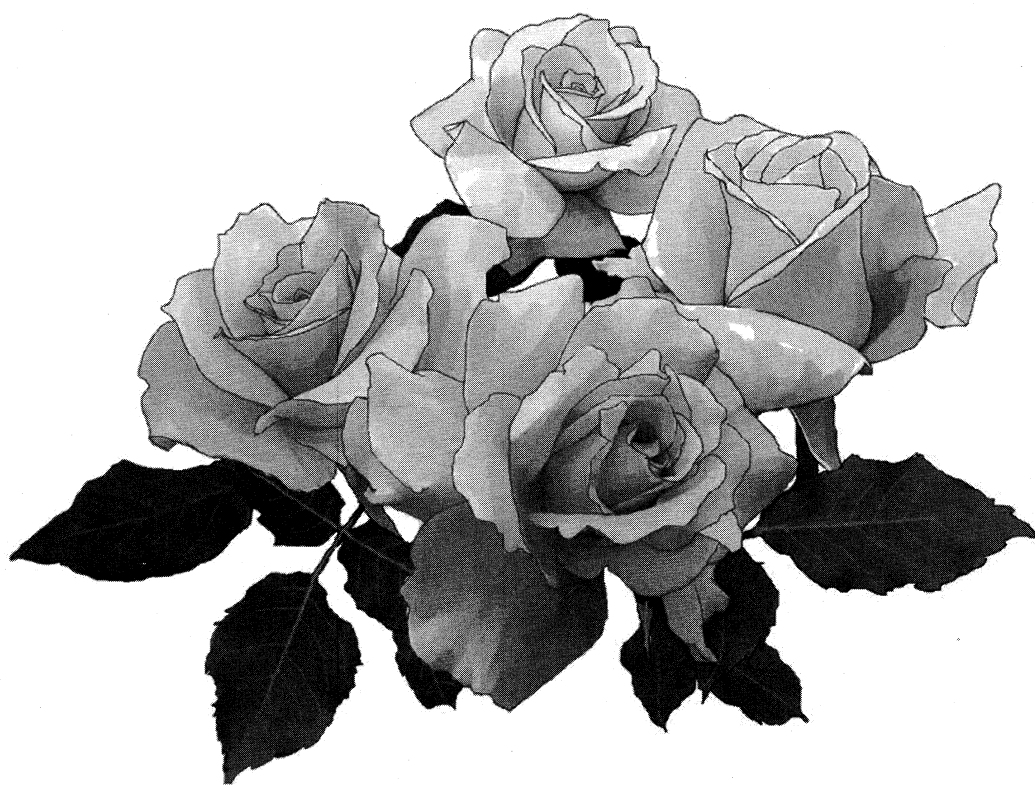


参 考 資 料



全国養護教諭連絡協議会
第19回学校保健連絡協議会開催要項

1 目 的

子供たちの心身の健やかな成長を願い、生涯にわたる健康づくりに果たす養護教諭の役割に大きな期待が寄せられている。養護教諭として学校の教育問題や子供たちの健康課題に適切な対応ができるような研修を深めると共に、会員相互の連絡・連携の推進を図るものである。

2 日 時 平成29年 6 月 17 日（土） 午前11時30分～午後 4 時30分
（受付10時～）

3 会 場 ヒューリックカンファレンス
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16
ヒューリック浅草橋ビル3F
TEL 03-5822-5971 FAX 03-5822-5972

4 内 容 講演

講 演 「生きる力を育む学校安全の推進」

講 師 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
安全教育調査官 吉門 直子 先生

5 日 程

10:00	10:30	12:00	13:00	15:30	16:30
受付	第19回学校保健 連絡協議会 講演	昼食	平成29年度総会	ブロック別 情報交換	

6 参加申込み

- ・各研究会代表者とオブザーバー1名とし、別紙申込書によりFAXで申し込む。
- ・総会に欠席する場合は、委任状に押印の上、郵送する。
- ・申込締切は 平成29年 5 月 22 日（月）

7 その他

- ・よりよい学校保健連絡協議会になるようご協力をお願い致します。

第 20 回研修会開催要項

1 目 的

- ・児童生徒等の心身の健康を育む養護教諭の専門的な力量の向上をめざし、学校保健の充実発展に寄与する。
- ・養護教諭が、学校保健活動を推進していくうえで役立つ保健管理、保健教育、保健室経営、最新医学情報などについて研修を深め、さらなる資質能力の向上を図る。

2 日 時

平成 29 年 8 月 3 日（木）・4 日（金）・5 日（土）

午前 10 時 00 分～午後 4 時 40 分（受付：9 時 30 から）

3 会 場

ヒューリックカンファレンス

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-22-16

ヒューリック浅草橋ビル 3F

TEL 03-5822-5971

4 主 催

全国養護教諭連絡協議会

5 日程及び内容

* 1 日目 8 月 3 日（木）

9:30	10:00	12:40	13:50	16:20	16:40
受付	開講式 「子供の外傷と障害 ～運動器検診にあたって～」 日本臨床整形外科学会 理事長 整秀会 田辺整形外科医院 理事長 田辺秀樹 氏	昼食	「保健室は 『困っている子』を救う最前線」 ノンフィクションライター 秋山千佳 氏	閉講式	

* 2 日目 8 月 4 日（金）

受付	開講式 「学校の先生に知っていただきたい 耳鼻咽喉科疾患」 千葉県こども病院 診療部長 仲野敦子 氏	昼食	「しなやかさとやさしさを育てる 支援の在り方～心の予防接種で 免疫力を高めませんか～」 法政大学文学部心理学科 教授 渡辺弥生 氏	閉講式
----	--	----	---	-----

* 3 日目 8 月 5 日（土）

受付	開講式 「超簡単！あつという間のクロス集計 ～腑に落ちるアンケートデータの 活かし方～」 埼玉大学教育学部 教授 埼玉大学教育学部附属特別支援学校 校長 戸部秀之 氏	昼食	「いのちの授業 ～いのちを大切にする心を育む～」 (がん教育) 特定非営利活動法人 いのちをバトンタッチする会 代表 鈴木中人 氏	閉講式
----	---	----	--	-----

6 募集定員

各日 132 名（標準収容人数）（定員になり次第締め切り）

※申し込み状況は、随時ホームページ上でお知らせしていく予定です。

7 参加費

3 日間参加：15,000 円 2 日間参加：11,000 円 1 日参加：6,000 円

8 参加申込

（1）申込期間

平成 29 年 6 月 19 日（月）～7 月 7 日（金）まで

（2）申込方法

全国養護教諭連絡協議会のホームページより、申込用紙をダウンロードし、FAX で申し込んでください。

（3）申込の問い合わせ先

（株）JTB 関東法人営業埼玉南支店

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4-3-2 明邦川口第 8 ビル 4F

TEL 048-227-2503 FAX 048-227-2567

「全国養護教諭連絡協議会 第 20 回研修会」担当：丸山佑太

営業時間 月～金 9:30～17:30

9 その他

研修についての問い合わせ先

全国養護教諭連絡協議会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5F

TEL 03-3433-5767

平成 29 年度全国養護教諭連絡協議会 第 23 回研究協議会開催要項

1 趣 旨

近年、社会が大きく変化し続ける中で、子供たちを取り巻く状況は多様化・複雑化し、心身の健康問題はますます深刻化しています。このような中、養護教諭は、子供たちの健康課題を的確に把握し、課題解決のため、組織的な学校保健活動の推進に向けて中核的な役割を担っています。

平成 29 年 3 月に、文部科学省から「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」が出されました。そこには、養護教諭が、従来からの健康課題への指導だけでなく、生徒指導面でも専門性を発揮し大きな役割を担っていることが明示されており、他の教職員や専門スタッフとも連携し、子供たちの心身の健康の保持増進と健康課題の解決に向けた取組の手順が示されました。

そこで、全国養護教諭連絡協議会では、『チームとしての学校』の力を高める養護教諭の役割をキーワードとして、研究協議会と研究誌「瑞星」を通して、2 年にわたって追究することになりました。

今回の研究協議会では、子供たちが生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力を育成する取組を通し、養護教諭の専門職としての資質向上を目指します。

2 主 題

「時代の変化に対応した養護教諭の役割を追究する」

～『チームとしての学校』の力を高める養護教諭の役割とは～

3 開催日時

平成 30 年 2 月 23 日（金）10 時～16 時 30 分 （受付 9 時 30 分～）

4 会 場

メルパルクホール

〒105-8582 東京都港区芝公園 2-5-20 TEL 03-3459-5501

5 主 催

全国養護教諭連絡協議会

6 共 催

公益財団法人 日本学校保健会

7 後 援

文 部 科 学 省
(公社) 日本薬剤師会
全国高等学校長協会
東京都教育委員会

(公社) 日本医師会
全国連合小学校長会
全国特別支援学校長会
(一財) 東京都学校保健会

(一社) 日本学校歯科医会
全日本中学校長会
全国学校保健主事会
日本教育シェーズ協議会

8 日 程

9:30	10:00	10:30	12:00	13:10	13:55	16:25	16:30
受付	開会行事	特別講演	昼食	基調講演	フォーラム	閉会行事	

9 内 容

- (1) 特別講演 「発達障害のピアニストからの手紙
～どうして、まわりとうまくいかないの?～」

発達障害のピアニスト 野田あすかの母 野 田 恭 子

- (2) 基調講演 「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援
～養護教諭の役割を中心として～」

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 健康教育調査官 松 崎 美 枝

- (3) フォーラム 「養護教諭の専門性を生かした
子供たちの心身の健康の保持増進に向けた取組とは」

コーディネーター

愛知教育大学長 後 藤 ひ と み

シンポジスト

小学校 山口県光市立浅江小学校 養護教諭 宮 本 妙 子

中学校 山梨県北杜市立明野中学校 養護教諭 小 泉 明 美

高等学校 秋田県立本荘高等学校 養護教諭 村 上 ま ゆ み

特別支援学校 茨城県立水戸高等特別支援学校 養護教諭 山 口 麻 由 子

10 参 加 者

- (1) 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・義務教育学校・中等教育学校・特別支援学校等の養護教諭
- (2) 都道府県・政令指定都市教育委員会関係者
- (3) その他の学校関係者

調査研究委員会

<目 的>

本調査研究委員会は、養護教諭の専門性の構築や健康教育の推進を図るため、調査方法・調査内容・調査結果の分析・調査結果の活用について検討及び協議し、全国養護教諭連絡協議会の更なる発展に資することを目的とする。

<活動内容>

【平成 27・28 年度 調査研究委員会の活動経過】

- ◇第 5 回調査研究委員会 平成 29 年 6 月 3 日（土）
 - ・ 報告書原稿について
 - ・ 会報原稿について
- ◇第 6 回調査研究委員会 平成 29 年 8 月 19 日（土）
 - ・ 考察、まとめの検討
 - ・ 会報掲載箇所の検討
 - ・ 報告書原稿の校正
 - ・ 総括、反省

※10 月製本完成、関係機関に配付

【平成 29・30 年度 調査研究委員会の活動経過】

- ◇第 1 回調査研究委員会 平成 29 年 10 月 15 日（日）
 - ・ 委員の委嘱・組織編成・各委員の役割分担
 - ・ 委員会事業計画（日程調整）
- ◇第 2 回調査研究委員会 平成 30 年 3 月 10 日（土）
 - ・ 調査内容の検討と案の確定
 - ・ Web 入力法の確認
- ◇第 3 回調査研究委員会 平成 30 年 4 月 14 日（土）
 - ・ テスト入力結果の検討
 - ・ データ処理、報告書形式の検討

【確認事項】

- ① 委員の委嘱は、年度内の 10 月 1 日～翌々年度の 9 月 30 日までとする。
- ② 委員は、調査項目の検討、調査集計及び報告書の作成と一連の仕事に携わる。
- ③ 平成 25 年度から Web 入力とし、データ処理は業者委託とする。
- ④ 調査は隔年とする。

調査研究委員会設置要綱

(設置・名称)

第1条 全国養護教諭連絡協議会の常設委員会として設置し、「調査研究委員会」と称する。

(目的)

第2条 本調査研究委員会は、養護教諭の専門性の構築や健康教育の推進を図るため、調査方法・調査内容・調査結果の分析・調査結果の活用について、検討及び協議し、全国養護教諭連絡協議会の更なる発展に資することを目的とする。

(事業内容)

第3条 本調査研究委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 調査方法の研究協議
- (2) 調査内容の研究協議
- (3) 調査結果の分析及び分析方法の研究協議
- (4) 調査結果の活用に関する研究協議
- (5) 調査研究報告書の作成
- (6) 調査結果の活用に関すること

(構成)

第4条 本調査研究委員会は、全国養護教諭連絡協議会会長（以下「会長」という。）が委嘱した委員及び本部役員の担当者を持って構成する。

(選出・任期)

第5条 委員は、全国養護教諭連絡協議会各ブロックより推薦を受けた会員の中から会長が若干名を委嘱するものとする。その任期は2年とし、再任は妨げない。

- 2 本部役員の担当者は、その年度の役員の中から会長が指名するものとする。
- 3 委員の任期の期間は、その年度10月1日より翌々年度9月30日までとする。

(会議の運営等)

第6条 委員の中から調査研究委員長（以下「委員長」という。）及び副委員長を互選する。

- 2 会長は、委員長の求めに応じて調査研究委員会を招集する。
- 3 委員長は、事業計画に基づき会議を運営する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 5 担当役員は、事業を実施する上での連絡調整にあたる。

(守秘義務)

第7条 会長は、委員に対して調査研究委員会において知り得たことについて、守秘義務を課することができるものとする。

(事務局)

第8条 本委員会の事務局を全国養護教諭連絡協議会事務所に置く。
委員会に関する庶務は担当役員が行う。

(その他)

第9条 この要項に定めるもののほか、調査研究委員会に関して必要な事項は、役員会で定めるものとする。

附則 ・ この要項は、平成17年6月26日より施行する。
・ この要項は、平成25年3月9日一部改正

瑞星編集委員会

1 編集趣旨

研究誌「瑞星」は、平成9年から発刊を重ね、本会の調査研究報告、研修会・研究協議会報告とともに、全国の仲間の実践事例集を掲載し、隔年発行している。この研究誌「瑞星」は、児童生徒の健康を守り育てる養護教諭の職務の指針となり、さらに養護教諭相互の資質向上の推進を図るとともに、本会の活動のあゆみとして編集を行う。

2 瑞星第11号実践事例集テーマ及び内容

(1) 編集テーマ

「チームとしての学校」の力を高める養護教諭の役割

～子供たちが生涯にわたって健康な生活を送るための力の育成と

課題解決の進め方～

平成27年12月に中央教育審議会が示した「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」では、学校は教職員だけでなく多様な人材が参画し、学校の教育力・組織力を高めていくことが求められている。答申を受け、平成29年3月に文部科学省から、「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」が出され、養護教諭は専門性に基づいた指導を行うとともに、他の教職員や専門スタッフとも連携・協働し、取組を推進する手順等が示された。そこで、その具体的な取組を全国の仲間の実践を通して学び合い、ともに資質向上を目指すよう本テーマを設定した。

(2) 編集内容

実践事例は、4分野「保健管理」「健康相談」「保健教育」「危機管理」について次の内容で、全国21の研究団体から推薦いただいた幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の先生方に執筆を依頼した。

分 野	執 筆 内 容
保健管理	*健康観察や健康診断、環境衛生検査や安全点検等を生かした取組 *感染症や疾病等の対応等校内外組織と連携・協働した保健管理の推進
健康相談	*心身の健康問題の把握、解決への対応を図るための校内組織、家庭、関係機関等と連携・協働した健康相談の推進
保健教育	*心身の健康を育むための養護教諭の専門性を生かした学校教育活動全体での組織的、計画的な保健教育の推進
危機管理	*養護教諭の視点に立った救急対応、心のケア等のための校内体制づくり *家庭、関係機関等と連携・協働した危機管理の推進

3 編集委員会の経過

(1) 第1回編集委員会 平成29年9月2日(土)

関東7研究会から推薦された委員7名により、編集委員会発足

①編集委員長・副委員長選出

- ・委員長：中村 希実子(山梨県富士河口湖町立勝山小学校)
- ・副委員長：高津 朱美(栃木県真岡市立真岡西小学校)

②研究誌「瑞星」第11号について

- ・実践事例集編集テーマ、図示の検討
- ・各研究会宛原稿依頼通知の検討

(2) 第2回編集委員会 平成29年10月7日(土)

①原稿、原稿骨子様式の検討

②執筆にむけての手引き資料検討

(3) 第3回編集委員会 平成29年12月10日(日)

①各原稿骨子の検討

②ページの割り振り

③表紙絵と押絵依頼

(4) 第4回編集委員会 平成30年3月10日(土)

①実践事例原稿の確認

②今後の対応を検討

(5) その他

①原稿・原稿骨子依頼通知発送 平成29年11月2日(木)

②執筆者より原稿骨子の提出 平成29年12月6日(水)

③執筆者より実践事例原稿の提出 平成30年2月23日(金)

④「瑞星第11号編集委員会だより」を発行

4 今後の予定

(1) 編集委員会の開催

平成30年5月、7月、8月、9月、他必要に応じて開催

(2) 発刊

平成30年初冬

(3) 瑞星の広報活動の推進

「瑞星第11号編集委員会だより」に実践事例等を掲載し随時発行予定

ホームページ編集

1 目的

全国養護教諭連絡協議会の広報活動の充実を図る。

2 編集内容

(1) 本会の概要

- | | | |
|------------|------|-------------|
| ① 会長あいさつ | ④ 沿革 | ⑦ 事務局へのアクセス |
| ② 目標と事業・会則 | ⑤ 役員 | |
| ③ 各地区研究会 | ⑥ 総会 | |

(2) 活動内容

- | | |
|--------|-------------|
| ① 基本方針 | ④ 研修会・研究協議会 |
| ② 活動方針 | ⑤ 調査研究 |
| ③ 事業計画 | ⑥ 要請・要望活動 |

(3) 会報・冊子

- | | |
|-------|-----------|
| ① 会報 | ③ 研究誌「瑞星」 |
| ② 記念誌 | ④ 研修会記録 |

(4) 関連リンク

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ・公益財団法人 日本学校保健会 | ・日本養護教諭教育学会 |
| ・文部科学省 | ・健やか親子 21 |
| ・厚生労働省 | ・一般社団法人 日本学校歯科医会 |
| ・独立行政法人 日本スポーツ振興センター | ・公益社団法人 日本精神神経科診療所協会 |
| ・インフルエンザ情報サービス | ・日本学校保健学会 |
| ・発達障害情報教育センター | ・一般財団法人 女性アスリート健康支援委員会 |

3 編集（HP 更新）の経過

- 6月 ・第20回研修会参加要項、参加申込書 ・平成29年度総会開催報告
- 7月 ・第20回研修会参加申し込み状況 ・全養連だより第1号
- 8月 ・第20回研修会開催についての事務連絡
・関連リンク追加（一般財団法人 女性アスリート健康支援委員会）
- 9月 ・第20回研修会のまとめ ・第21回研修会速報 ・第23回研究協議会速報
- 10月 ・会報75号 ・第23回研究協議会開催要項
- 11月 ・全養連だより第2号 ・第23回研究協議会申込用紙
・第23回研究協議会特別講演・フォーラム案内
・平成28年度養護教諭の職務に関する調査報告書
- 12月 ・第23回研究協議会参加申し込み
- 1月 ・第23回研究協議会参加申込期間延長 ・瑞星11号編集委員会だより
- 2月 ・第23回研究協議会申し込み締め切り ・全養連だより第3号
・第21回研修会案内 ・第23回研究協議会開催案内
- 3月 ・第23回研究協議会報告 ・第24回研究協議会案内
- 4月 ・会報76号 ・第21回研修会開催要項 ・全養連だより第4号
- 5月 ・平成30年度基本調査

会 報 編 集

1 主旨 全会員の学校保健推進のための情報活動として、年2回発行する。

2 平成29年度掲載内容

<第75号>平成29年9月30日発行

- | | | |
|-------|------|---|
| P 1 | 巻頭言 | 会長 村井 伸子 |
| P 2 | 寄稿文 | 1 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 課長 三谷 卓也 氏
2 全日本中学校長会 会長 直田 益明 氏 |
| P 3～4 | 活動報告 | 平成29年度総会・第19回学校保健連絡協議会報告
日本養護教諭関係団体連絡会報告
瑞星編集委員紹介 |
| P 5 | 活動報告 | 平成28年度 養護教諭の職務に関する調査報告 No.1 |
| P 6～7 | 活動報告 | 第20回研修会報告 |
| P 8 | 活動予告 | 第23回研究協議会予告 |

<第76号>平成30年3月31日発行

- | | | |
|-------|-----------|---|
| P 1 | 巻頭言 | 副会長 山下 和美 |
| P 2 | 寄稿文 | 1 日本学校保健会会長 横倉 義武 氏
2 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課
健康教育調査官 松崎 美枝 氏 |
| P 3 | 活動報告 | 平成28年度 養護教諭の職務に関する調査報告 No.2
調査研究委員紹介 |
| P 4～5 | 活動報告 | 第23回研究協議会報告 新理事紹介 |
| | 活動予告 | 第21回研修会予告 |
| P 6～7 | 研究会交流コーナー | ①富山県養護教諭会 ②福井県養護教諭研究会
③長野県学校保健会養護教諭部会 ④岡山県学校保健会養護教諭部会 |

3 活動経過

① 会報75号

- ・第1回役員会（7月1日）企画・編集について提案
- ・校正4回
- ・発行・各研究会へ発送（平成29年9月30日付）

② 会報76号

- ・第4回役員会（9月23日）企画・編集について提案
- ・校正4回
- ・発行・各研究会へ発送（平成30年3月31日付）

4 研究会交流コーナー 平成30年度・平成31年度掲載研究会予定

平成30(2018)年度 (78号)

- ①愛知県養護教育研究会 ②川崎市学校保健会養護教諭部会
③全国養護教諭連絡協議会宮崎県研究会 ④福岡県高等学校養護教諭研究会

平成32(2020)年度 (80号)

- ①青森県養護教員会 ②新潟県養護教員研究協議会
③和歌山県養護教諭研究会 ④相模原市養護教諭研究会

平成29年度 公益財団法人 日本学校保健会事業の概況

I 基本方針

子供を取り巻く生活環境や社会環境が急激に変化している中、心身両面に関わる様々な健康課題が顕在化の傾向にある。このような子供の現代的健康課題に適切に対応するため、学校保健が当面する健康課題解決に向け、調査研究及びその成果の提供、会報の発行、学校保健関係図書等の頒布、ウェブサイトでの広報、学校保健用品等の推薦・斡旋、健康教育推進学校の表彰、研修会・講演会等の実施を通じて、学校保健の振興、普及啓発、調査研究を図ることを基本方針としている。

本年度、新規事業として就学時の健康診断マニュアル、生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり、自信を持って取り組める医薬品教育、エイズ・性感染症に関する指導の手引き等の各手引書の改訂を進めている。アレルギー講習会は諸般の事情から本会で再開された。100周年記念行事を2年後に控え準備体制を整えている。

運営面では引き続き経費節減に向け、事業の見直し、賛助会費等の外部資金の確保、事業収入の拡充方策を講ずるなど、本会の経営安定化に力を尽くしている。公益財団法人として将来を見据えた財政基盤の確立に取り組むたい。

II 事業

1. 学校保健の振興に関する事業

〔一般事業〕

(1) 熱中症対策支援 〔継続〕

啓発ポスター配布（会報H29年5月号） 啓発パンフ・動画配信

(2) 学校における飲酒防止教育支援 〔継続〕

啓発ポスター作成・配布 啓発パンフレット作成・配布（高3対象）

(3) 職域研究大会等への助成 〔終期設定なし〕

全国大会、歯科保健、学校環境衛生、養護教諭、保健主事の各大会へ助成

(4) 保健室・環境衛生検査備品等改善 〔新規〕

健康診断・環境衛生検査実施上の環境整備の検討

(5) 思春期の学校歯科保健推進 〔新規〕

思春期の児童生徒に対する歯科保健指導の実践事例集作成の検討

(6) 成長曲線普及推進 〔継続〕

成長曲線に基づく児童生徒等の健康管理の手引の作成、基本情報の提供

(7) 保健教育推進 〔一般で継続〕

保健教育の指導と評価に関する啓発、指導者育成の方策検討

(8) 思春期皮膚疾患に関する啓発 〔新規〕

啓発ポスター作成・配布

(9) 児童生徒の生活習慣向上啓発委員会 〔新規〕

『学校と家庭で育む子どもの生活習慣』を基にした啓発資料の作成

〔国庫補助事業〕（健康教育振興事業費補助金）

（調査研究事業）

- （１）児童生徒の健康状態サーベイランス 〔終期設定なし〕
児童生徒のライフスタイル領域、リスクファクター領域、アレルギー疾患及び学校生活に関する領域など広範囲な調査をまとめ報告書を作成
H29 年度 報告書作成 都道府県・指定都市教育委員会配付
- （２）保健室利用状況に関する調査 〔継続〕
５年に１回の調査（H28 年度実施）、課題解決の方策の基礎資料
H29 年度 報告書作成 都道府県・指定都市・市町村教育委員会配付
（健康増進事業）
- （１）学校健康づくり啓発 〔継続〕
児童生徒から原画等公募、標語入りポスター（小・中・高等学校版）作成
都道府県・指定都市・市町村教育委員会、小・中・高・特支学校等に配付
- （２）国際化事業 〔継続〕
H29 年度 会報特集記事英文化・HP 掲載
- （３）学校における心肺蘇生（AED）支援 〔継続〕
保健室を中心とした緊急対応等に関する共通マニュアル作成等
H29 年度 インターネット調査実施 報告書作成
- （４）就学時の健康診断マニュアル改訂 〔新規〕
単年度事業 マニュアル作成・教育委員会・小学校配付
- （５）『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』改訂 〔新規〕
２年間 H30 年度に改訂版発行・全国配布
- （６）『自信をもって取り組める医薬品の教育』改訂 〔新規〕
２年間 H30 年度に改訂版発行・全国配布
- （７）『エイズ・性感染症に関する指導の手引き』改訂 〔新規〕
単年度事業 手引書作成・全国配付
- （８）『学校において予防すべき感染症の解説』改訂 〔新規〕
単年度事業 解説書作成
- （９）降灰地域等学校保健事業 〔終期設定：事業計画〕
降灰実態等に対し児童生徒の健康被害の軽減のためのクリーナーの貸与等
鹿児島県委託（鹿児島市、垂水市）
- （１０）ブロック別研究大会への助成 〔終期設定なし〕
全国 9 カ所のブロック別研究大会（除く四国）

２．学校保健の普及に関する事業

〔一般事業〕 〔終期設定なし〕

- （１）100 周年事業実行委員会
2020 年 12 月 5 日（土）に記念式典・祝賀会を開催予定

- (2) 100 周年事業実行委員会 百年史編纂委員会
八十年史を基に新たに百年史を作成
- (3) 会報「学校保健」の発行
会報「学校保健」を年 6 回（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月）発行
都道府県・指定都市・市町村教育委員会、小・中・高・特支 学校等（各 3 部）
学校保健関係者及び購読者に配付
- (4) 「学校保健の動向」の発行・頒布
各年度の学校保健活動に関する最新情報の提供（年 1 回）
- (5) 学校保健関係図書等の頒布・出版
調査研究した成果をまとめた報告書等の頒布
学校保健関係の出版支援
アレルギー紙芝居のデジタル版作成（販売中）
- (6) 学校保健会広報（HP）
本会ウェブサイトで運営組織や事業内容等を広報
- (7) 学校保健用品等の推薦・斡旋・販売
学校等の良好な環境衛生の維持に関する資料・資材の推薦
学校等での環境衛生検査の実施に必要な化学物質検査等を斡旋
- (8) 受託・委託事業、刊行物等の監修
- (9) 学校等欠席者・感染症情報システム運営〔名称変更〕
運営委員会開催、新規導入受付、使用規程改訂、利用許諾申請、システム改修等

〔国庫補助事業〕

（普及指導事業）

- (1) 日本学校保健会事業報告会 〔終期設定なし〕 平成 30 年 2 月 15 日（木）
年 1 回 事業成果報告会開催、本会の事業を公開し普及啓発に寄与
事業報告書を参加者及び都道府県・指定都市学校保健会に配付
- (2) 学校保健情報提供（PS） 〔終期設定なし〕
学校保健会ポータルサイト「学校保健」より学校保健情報を配信
特集記事、募集事業案内、発行物（デジタルアーカイブ）、教材用コンテンツ、
学校欠席者情報等
統括委員会、企画運営委員会（小）で運営管理

3. 学校保健の啓発に関する事業

〔一般事業〕

- (1) 全国健康づくり推進学校表彰 〔終期設定なし〕
公募制により健康教育の推進に積極的に取り組み成果を挙げている学校を毎年 100 校
程度表彰
H29 年度応募校 93 校 表彰式：平成 30 年 1 月 27 日（土）日本医師会館（214 名）
- (2) 学校保健関連研究会等支援 〔継続〕
各地域で開催される研究会等への講師謝金補助

(3) 研修会・講演会の開催

- ① 特別セミナー「子供の健康とスマホ依存」[新規] 東京 12/14 (241 名)
- ② 特別セミナー「子供の睡眠と健康」[継続] 東京 12/26 (323 名)
- ③ 学校における飲酒防止教育支援研修会 [継続]
横浜 12/21 (101 名) 広島 11/10 (44 名)
- ④ 学校等欠席者・感染症情報システム研修会 [新規]
東京 8/18 (55 名) 大阪 8/23 (50 名)
- ⑤ 保健教育推進研修会 [一般で継続] 奈良 12/25 (86 名)
- ⑥ 中高生を指導する養護教諭のための研修会 (思春期の体と性と心) [新規]
大阪 8/4 (84 名) 東京 8/7 (71 名)

〔国庫補助事業〕

(健康増進事業)

- ① 「自信をもって取り組める医薬品の教育」研修会 [継続]
栃木 7/4 (104 名) 高知 10/27 (79 名)
- ② 「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導参考資料」研修会 [継続]
長崎 6/28 (451 名) 千葉 11/24 (167 名) 群馬 1/31 (104 名)
- ③ 健康診断啓発研修会 [継続] 内容一部変更
A 北海道 10/20 (173 名) A 鹿児島 2/9 B 北九州 7/26 (153 名) 福井 8/1 (23 名)
B 長野 12/12 (241 名) C 鳥取 8/22 (79 名)
- ④ アレルギー講習会 [新規] 3 年間
大阪 8/9 (623 名) 埼玉 8/10 (485 名) 福岡 8/23 (356 名)
和歌山 9/12 (235 名) 広島 12/14 (147 名) 三重 2/22

〔一般事業〕

(4) 全国学校保健会啓発事業 [終期設定なし]

- ① 全国学校保健会運営担当者会議
平成 29 年 4 月 20 日 (木) 日本消防会館 (63 名)
本会加盟団体の運営担当者への事業説明、情報提供等
- ② 全国学校保健会中央大会
平成 29 年 11 月 17 日 (金) 三重県総合文化センター (71 名)
全国の学校保健会 (連合会) の代表が参加
日本学校保健会及び各団体の活動報告、国への要望事項の協議

4. その他

- (1) 文部科学省、日本医師会、日本学校歯科医会、日本薬剤師会、本会加盟団体、
教育関連団体等との連携 * 中央教育審議会への対応
- (2) 平成 29 年度全国学校保健・安全研究大会の開催への協力 (三重県・津市)
〔平成 29 年 11 月 16 日 (木)・17 日 (金)〕
- (3) 本会の目的達成に必要な事業 (緊急対応課題等)

平成29年度 全国健康づくり推進学校表彰事業実施要項

1 趣 旨

教育基本法第1条においては、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」としている。

生涯を通して、よりよく健康を保持増進するためには、幼少年期からの生活習慣や環境など健康的な生活行動が大きく影響することから、学校における健康教育、健康管理は重要である。

このような観点から、学校と家庭、地域社会と連携を図り積極的に健康づくりを推進し、成果を挙げている学校を表彰し、もってその充実・普及を図る。

2 主 催

公益財団法人 日本学校保健会（以下、日本学校保健会という）

3 後 援

文部科学省・厚生労働省・（公社）日本医師会・（公社）日本薬剤師会・（一社）日本学校歯科医会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国特別支援教育推進連盟・全国学校保健主事会・全国養護教諭連絡協議会・（公社）日本PTA全国協議会・（公社）全国学校栄養士協議会・朝日新聞社・産経新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社

4 特別協賛

日本コカ・コーラ株式会社

5 表彰の対象

国公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校

6 被表彰候補校の推薦

（1）応募する学校は、全国健康づくり推進学校の活動状況調査票（別紙様式2、以下「調査票」という）に健康づくりのための活動状況の要点を記入し、都道府県学校保健（連合）会及び政令指定都市学校保健会に提出する。

（2）都道府県学校保健（連合）会及び政令指定都市学校保健会は、次に定める推薦数並びに基準によって被推薦校の推薦を行い、調査票に全国健康づくり推進学校表彰推薦書（別紙様式1、以下「推薦書」という）を添えて、日本学校保健会に提出する。

1）推薦数

道府県・政令指定都市は、小学校3校 中学校1校 高等学校1校 特別支援学校1校の推薦

東京都は、小学校5校 中学校2校 高等学校2校 特別支援学校2校の推薦
ただし、義務教育学校にあっては、小学校として、あるいは中学校として応募するかを、また中等教育学校にあっては、中学校として、あるいは高等学校として応募するかについて申し出るものとする。

2）推薦の基準

健康づくりのために、健康教育、健康管理及び組織活動を内容とする学校保健計画、学校安全計画、食に関する計画が適切に実践され、具体的な健康課題について、学校・家庭・地域社会が連携し、解決に向けて成果を挙げている学校。

ただし、過去3年間連続して推薦された学校にあっては、2年間において推薦するものとする。なお、最優秀校を受賞した学校にあっては、3年間において推薦するものとする。

- 7 推薦書等の提出
平成29年8月末日までとする。
- 8 審査の方法
都道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会から推薦された学校について、学識経験者等による審査会を設けて審査を行い、最優秀校、優秀校、優良校等を決定する。
審査は、書類による一次審査及び学校訪問による二次審査とする。
- 9 特別協賛社賞
特別協賛社賞は、学校訪問による二次審査を行った学校のなかから選定する。
- 10 表 彰
表彰式は、当該年度に開催し、日本学校保健会会長が表彰状を授与して行う。
表彰式に併せて実践発表を行うほか実践事例集を刊行し、健康づくりのための活動の普及・充実に努める。
- 11 表彰式の期日及び場所
平成30年1月27日(土) 日本医師会館